

1 生徒の実態

(1)学習状況調査結果の推移

R3入学 現3年生	国語			数学			英語		
	1年時	2年時	3年時	1年時	2年時	3年時	1年時	2年時	3年時
	県 (12月)	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	県 (12月)	全国 (4月)
	62.3 (0.9)	50.0 (0.88)	48.2 (0.94)	46.0 (0.88)	30.5 (0.76)	52.3 (0.91)	48.2 (0.87)	43.0 (0.95)	36.0 (0.92)
R5正答率の全国比			0.92		0.84		0.79		

- ◎1・2年時は佐賀県小・中学校学習状況調査、3年時は全国学力・学習状況調査の推移。
- ◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。
- ◎「令和5年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2)学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能は、3.7ポイント全国を下回っている。思考力・判断力・表現力等は、6.7ポイント全国を下回っている。「書くこと」の領域に課題が残る。 ・文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題が最も低く、全国の6割程度しかできていない。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能は、6.5ポイント全国を下回っている。思考力・判断力・表現力等は、12ポイント全国を下回っている。「図形」の領域に大きく課題が残る。 ・空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる問題が最も低く、全国の4割弱程度しかできていない。 <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能は、7.9ポイント全国を下回っている。思考力・判断力・表現力等は、11.4ポイント全国を下回っている。「聞くこと」の領域に課題が残る。 ・日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題が最も低く、全国の2割強程度しかできていない。 <p>【意識調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間以上学習している生徒はいるが、2時間以上学習している生徒は少ないことから、宿題のみの取り組みになっていると思われる。 ・ICT機器は勉強に役立つと思っているが、活用して勉強している生徒はあまり見られない。 ・自分で考え、まとめる勉強をしている割合は、全国や県と同程度である。 ・将来の夢や目標をもっている生徒の割合は、全国を少し上回る程度である。
--

2 改善に向けた具体的な取組

(1)授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組む態度の定着を図るために、生徒の身近にある話題と授業の内容を結び付けて、興味・関心を高める授業を展開する。 ・定期テストに県学状の誤答の問題（類似問題）を必ず一問出題するなど、繰り返し指導を行う。 ・授業の振り返りを毎時間書かせる。 <p>【国語】</p> <p>「書くこと」については、モデル文を示しながら書かせるようにする。 漢字等の学習は、既習事項を振り返りながら進めるようにする。</p> <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間認知力を高めるために、タブレットや電子教科書を用いて、あらゆる方向から図形を捉えることができるようにする。 ・視覚的な理解をしやすいように色分けを適切に行い、問題に取り組みやすいようにする。 <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスニング練習をする際には、聞き取りのポイントを明確にしてキーワードを意識できるようにする。 ・英作文では、1文で終わらず、感想等も入れるように、日頃から練習をさせる。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

【共通】

- ・読書指導を丁寧に行う。
- ・家庭での過ごし方についてタイムマネジメントの指導を行う。

【国語】

- ・漢字や文法の復習を継続して行うよう指導する。

【数学】

- ・家庭学習では、計算問題ばかりでなく、図形領域やデータの活用などの問題も繰り返し解かせる。
- ・テストの文章問題では、部分点を明示し、少しでもやる気を高めるようにする。

【英語】

- ・家庭学習では、単語や英文の練習だけでなく、短時間でできるタブレットドリルやデジタル教科書を利用した音読練習なども取り入れ、継続した学習をするように指導する。
- ・テスト対策プリントは事前に余裕をもって配布し、「やればできる」という経験をたくさんさせる。プレテストも行い、繰り返し練習させる。